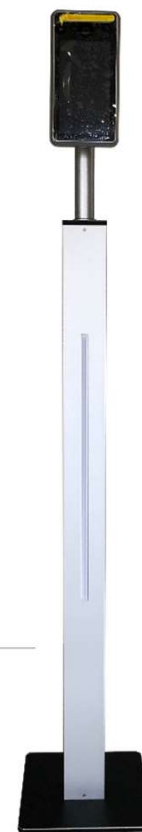


タブレット型AIサーマル カメラ RS-H658のご提案

2020年7月10日

株式会社KSM



KSM
CORPORATION

タブレット型サーマルカメラ導入のメリット

- 人手を掛けずに、非接触で迅速に検温可能
- マスクの着脱を検知し、注意喚起
- 音声アラートで異常温度を報せ、注意喚起が可能
- 専用アプリでのプッシュ通知（要ネットワーク接続）
- 検温、音声アナウンスのみの運用の場合、ネットワーク接続不要で簡単設置
- 他の音声、表示デバイスとの連動
- 顔認証（最大10,000人）で、ホワイトリスト、ブラックリストの登録が可能



タブレット型サーマルカメラ導入イメージ

運用の流れ

①1.2m以内に人が入ったことを検知し起動、
検温の際は音声アナウンスで検温の最適位置まで誘導(約50cm)

②設定した温度(推奨及び初期設定値は35.6℃～37.2℃)
以外を検知し、音声ガイダンス及びディスプレイでお知らせします。
「体温が高いようです。通行できません」
「体温は正常です。通行してください。」

③マスクを着用していなければ、注意喚起をアナウンスします。
「マスクを着用してください。」



連携オプション パソコン



PCで接続することで、各種設定を変更可能です。

また、リアルタイムでの映像の確認、アラートの検出が行えます。

顔認証使用時の登録、設定もパソコンで行います。

スマートフォン



スマートフォン用アプリ(P6SLite)をインストールし、
簡単な登録と、本体裏のQRコードを読み込むだけで連動が可能です。

リアルタイムでの映像の確認できます。
また、体温異常等のアラートをプッシュ通知受け取ることができます。
また、スマートフォンから本機器に音声を送ることも可能です。

デジタルネットワークレコーダー



ネットワークレコーダーに接続することで、
サーマルカメラをネットワークカメラとして映像を録画することが可能です。

警報装置

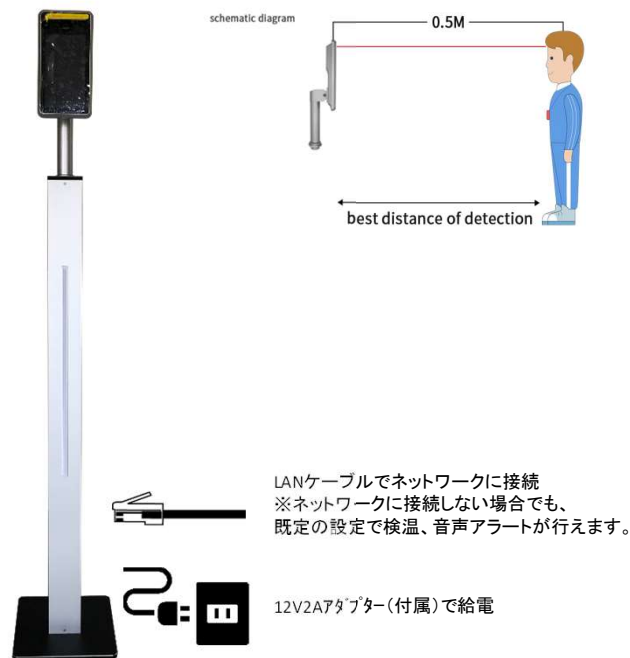


リレー出力により、その他警報装置と連動できます。
異常温度を検出した際など、警報装置で報せることが可能です。

機器の設置・接続

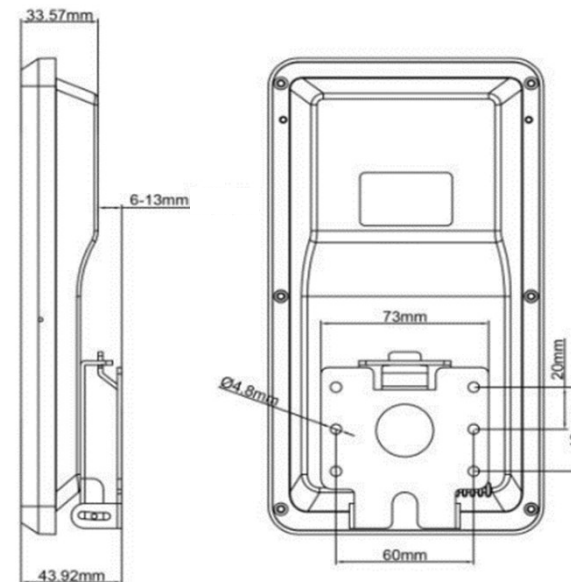
機器の設置はウォールマウントか据え置きスタンド(オプション)で行います。
下記の点に注意して設置してください。

- A) 温度測定デバイスは、40℃以下の屋内で使用して下さい。
- B) 通気口、エアコンなどの下に温度測定デバイスを設置しないでください。
- C) 3メートル以内に熱源がないことを確認してください。
- D) 温度測定デバイスの推奨測定距離は50CMです。
30-120CMでも測定可能ですが誤差が生じる恐れがございます。



ウォールマウントの取り付け:

- 1 取り付けブラケットに合わせて壁に穴を開けます。
- 2 デバイスの下部にある分解防止固定ネジを専用の分解防止レンチで緩め、
取り付けパネルを取り外し、下図のようにパネルをハウジングに固定します。
- 3 デバイスを取り付けパネルに上から下に取り付けます。
- 4 デバイスの下部で、専用の分解防止レンチを使用して、手順2で取り外した分解防止ネジを締めます。
こちらの設置高さは1.5mが推奨設置高さです。



コネクタインターフェース



J1 アクセスコントロール（出力）	1及び2ノーマルオープン、デフォルトノーマルオープン、接続時にID 情報送信（アラーム出力2）
	3及び4ノーマルクローズ、デフォルトノーマルクローズ、切断時にID 情報送信（アラーム出力2）
J2 リセットキー	初期値にリセット
J3 パワーコネクタ	DC 12V
J4 アラーム出力	GND + アラーム 通常時 3.3V、アラーム出力時 0V
J5 ウィーガンドコネクタ	使用しません。
J6 RJ45	使用しません。
J7 USB	使用しません。

各種設定項目

本機器をPCに接続することで、各種設定を変更頂けます。(PC及び本機器を同じネットワークセグメント内に設定する必要があります。)

接続により、下記のような設定項目を変更することができます。

○ドアアクセス

通行可否のアナウンスを下記設定項目から選択できます。

- 1) 顔認識 : 顔認証により、ホワイトリスト、ブラックリストを参照にし、通行の可否をアナウンスします。
- 2) 顔認識+温度 : 上記の顔認証に加え、温度異常があった場合は通行禁止のアナウンスを行います。
- 3) 温度 : 異常温度があった場合、通行禁止のアナウンスを行います。
- 4) 温度+マスク : 上記に加え、マスクを着用していなければ通行禁止のアナウンスを行います。

○温度設定

- 1) 本体の画面の温度表示の有無
- 2) 標準体温の変更(デフォルト値は35.6~37.2℃) 異常体温自の音声ガイダンスの有無を選択できます。
- 3) 温度補正(実際の体温または本体の表示温度の誤差の調整)

○マスク着用可否検知

3つのアラームタイプから選択できます。

- 1) マスクなしアラーム: マスクを着用していない人が検知されると、「マスクを着用してください」とアナウンスされます。
- 2) マスクアラーム: マスクを着用している人が検知されると、「顔をブロックしないでください」とアナウンスされます。
- 3) アラームなし: マスクの着用有無に関係なく、音声アナウンスは流れません。

○顔認識設定

顔画像をホワイトリスト、ブラックリストに登録できます。

ドアアクセス(通行の可否)で使用可能です。

ホワイトリスト使用の場合は、特定の人のみ通行可、ブラックリスト使用時は特定の人のみ通行禁止にします。



○ログ確認(記録の認識)

過去10,000件分の検温結果を閲覧可能です。

時間、ルール(ホワイトリスト、ブラックリスト)、名前(顔認証登録の場合)で検索でき、項目をクリックするとキャプチャ画像を閲覧できます。

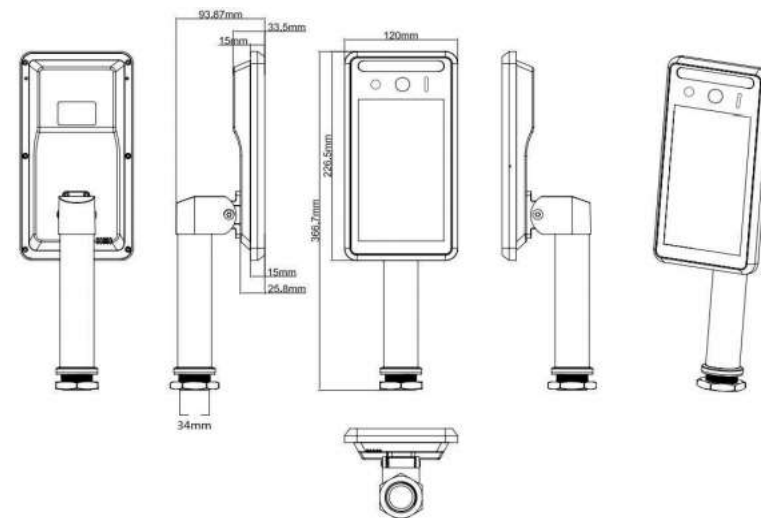


運用上の諸注意

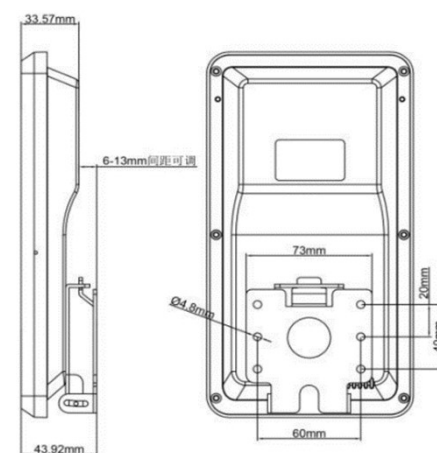
- 本機器はあくまで温度を検温して異常をお知らせするものです。
 - 正確な体温を計測する場合は体温計をご利用ください。
-
- A) 温度測定デバイスは、40℃以下の屋内で使用して下さい。
 - B) 通気口、エアコンなどの下に温度測定デバイスを設置しないでください。
 - C) 3メートル以内に熱源がないことを確認してください。
 - D) 真冬など冷たい屋外環境で測定すると、温度測定の精度に影響が出ます。温度テストは、額表面温度が安定した後に測定してください。
 - E) 温度測定デバイスが読み取る温度は、額の温度です。額に水、汗汚れ、油汚れ、しわがある場合は、実際の温度よりも低い温度になるため、髪の毛や衣類のカバーがないようにして下さい。
 - F) 温度測定デバイスの推奨測定距離は50CMです。30-120CMでも測定可能ですが誤差が生じる恐れがございます。

機器仕様

モデル名	RS-H658	
映像 (カメラ、LCDモニター)	撮影素子	1/2.8"CMOS Sensor(IMX327)
	有効画素	1,920 x 1,080 (2.0MP)
	最低照度	カラー 0.1 Lux // 白黒 0.05 Lux
	LCDサイズ	7インチ
レンズ	フォーカス	3.6mm F=2.0
	フォーカス制御	固定
	レンズマウント	単焦点
	DAY & NIGHT	自動、週間、夜間 (IR CUT)
機能	逆光補正	○
	WDR	D-WDR
	ノイズ	2D, 3D DNR
	動き検知	○
	スマート機能	顔認識 (最大登録人数: 1万人) 一人当たりデータ容量は100KB以下
		マスク着用可否検知
		各種ゲートとの連動
	アラーム	△別途リレー必要
	音声	○
	体温測定時間	1 ~ 2 秒
	体温測定誤差	±0.3℃
	体温測定距離	0.3 ~ 1.2m (推奨距離50cm)
	イーサネット	RJ-45 (10/100Base-T)
ネットワーク	映像圧縮	H.264/H.265/H.265+/MJPEG
	ビットレート	128Kbps~12Mbps CBR/VBR
	ストリーミング	Main :1920*1080
		Sub:704*576;640*360;352*288
	音声圧縮	G.711U
	プロトコル	HTTP, TCP/IP, IPv4, UPNP, RTSP, UDP, SMTP, NTP, DHCP, DNS, IP Filter, PPPOE, DDNS, FTP, IP Search(Support P6S IP camera,DVR, NVS and etc.)
	保安	IP Filter
	API サポート	Open API, Onvif
一般事項	動作温度	-10℃ ~ +50℃
	動作湿度	-40 F to 140 F Humidity 90% or less (non-condensing)
	入力電源	12V DC +10% (アダプター付属)
	PoE	X
	消費電力	5W



ハウジング寸法



ウォールマウント寸法

注意: 本書の内容は、ユーザーへのガイダンスのみを提供するものであり、当社は製品またはソフトウェアの機能の変更・改善・アップデートのため、予告なく機能を変更することがございます。